

ヤマヒョウタンボク

Lonicera mochidzukiana Makino var. *nomurana* (Makino) Nakai
スイカズラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地局限。現在知られている生育地は1地区のみで個体数も少ない。

分 布

本州（東海地方、近畿地方、中国地方）～九州に分布。県内では高浜町、大野市での記録がある。

種の特徴

山地に生える落葉低木、ニッコウヒョウタンボクの変種。石灰岩地や蛇紋岩地に点在し、基準変種とのすみ分けが認められる。花は白色で5月ごろ葉腋から出た柄に2個ずつつく。液果は球形で径6～8mm、基部で合着し7～8月紅熟する。

生育を脅かす要因

シカ食害

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○													○	

アラゲヒョウタンボク

Lonicera strophiphora Franch.
スイカズラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地局限。

分 布

北海道（南西部）～本州、四国（剣山）に分布。県内では勝山市での記録がある。

種の特徴

山地に生育する落葉低木。葉は長さ3～11cm、幅2～6cmの長楕円状卵形で両面に長毛があり、特に裏面脈状に多い。4～6月、開葉と同時に、若枝の下部の葉腋から出た柄に2花を着ける。花冠は淡黄色で長さ2～2.5cmの狭漏斗形。

生育を脅かす要因

生育地へのシカの分布拡大による食害

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○		

ホザキヤドリギ

Loranthus tanakae Franch. et Sav.
オオバヤドリギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では稀産種で、現在知られている生育地は1地区のみ。寄生木の減少で絶滅の危機にさらされている。

分 布

本州（東北地方、中部地方中北部）に分布。県内では勝山市での記録がある。

種の特徴

ミズナラ、クリ、ハンノキなどの落葉広葉樹に寄生する長さ20～40cmの落葉低木。若枝は紫色を帯び無毛。葉は楕円形または長楕円形でやや肉質、全縁。花は6～7月、穂状に多数つく。果実は黄色に熟す。

生育を脅かす要因

ナラ枯れによる宿主植物の枯死、森林伐採

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○		